

岩手県立高田高等学校 国語科 学習指導案

実施日 平成十八年十月三十一日(火)

実施クラス

普通科 一年一組

指導者

菅野 幸貴

科目名 国語総合(現代文)

指導領域

「読むこと」

単元名

小説

教科書名・教材名

探求 国語総合(桐原書店)・「形」

指導事項

文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約したりする。
文章を読んで、構成を確かめたり表現の特色をとらえたりする。
文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。

単元の目標

小説全体の構成を的確にとらえ、主人公の人間像や心理の変化を表現に即して読み味わうとする。
「私」が「私」である所以は「私」以外の他者との関係において成り立つという作品の主題を理解し、「私」とは何かについて自分の考えを深める。(読む能力)
漢字や慣用語に対する理解を深め、語彙を豊かにするとともに、表現の工夫について理解する。(知識・理解)

評価の観点と評価標準

他の生徒との読みの交流を通して、自分の読みを深めようとしている。(関心・意欲・態度)
小説の主人公の人間像や心理、情景を、それぞれの表現に即して読み味わっている。(読む能力)
小説の描こうとしたことについて、他の生徒との意見交流などを手がかりに、自分の考えを深めている。(読む能力)
文中の語句の意味を理解し、語彙を豊かにしている。(知識・理解)

年間指導計画における位置づけ

これまで一・二期において、随想、小説、評論、詩教材の表現の特色に触れてきた。特に小説においては、一学期で小説「羅生門」を学習し、小説の構造・展開・主題の把握など小説を読む基本的な方法を学んで内容を理解し、人々の心理に対する考えを深めた。本単元では時代小説と小学生が主人公である現代小説を読むことと、自分の心理と「他人」の関係について考えを深め、作品の主題を理解するようにしたい。

単元の指導計画

一時間目「形」：全文を音読し段落分けし、主人公の人物像と心情を把握する。(本時)
二時間目「形」：本文中の表現から登場人物の行動と心理を押さえる。
三時間目「形」：主人公の心情の変化を把握し、作品の主題について考える。
四時間目「海の王子」：全文を音読し、全体の展開や構成を理解する。
五時間目「海の王子」：主人公「私」の人物像と「私」の他者への意識を把握する。
六時間目「海の王子」：会話や行動から登場人物の心理を読みとる。
七時間目「海の王子」：主人公「私」の自意識の変化をとらえ、作品の主題を考える。

本時の目標

会話文や文章の調子に留意しながら音読し、全体の構成を捉える。
主人公中村新兵衛の人物像と描かれ方の特徴を押さえる。

本時の学習指導計画

本時の学習指導計画		導入	過程
まとめ	展開	導入	過程
確認の内容を再	1 全文を音読する。 2 段落分けをする。 3 主人公の人物像を把握する。 4 主人公の描かれ方の特徴を押さえる。	作品の興味関心の高める。	指導内容
時の予告をする。	敵・味方から見た新兵衛の姿が新兵衛本人ではなく、「狸」に替えられていること、葉に「唐冠」という言葉が、その理由を考えさせる。	「形」というタイトルから「外見・外面」について考え、意見交換させる。	学習者
本時の内容を確認させ、次の時間に行くことを理解する。	新兵衛がどのような描かれ方をしているのか、なぜそれが描かれているのか、発表する。	外見・外面を使った言葉と内面について問題意識を持つ。	学習者
	「敵や味方から見た姿は、比喩表現で語られていることが指摘できる。」「発言観察」		p評価方法